

## ヒューリック株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、ヒューリック株式会社（以下「本法人」）が発行する第 10 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2020 年 10 月 15 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指します。（詳細は本法人ホームページをご参照ください。）

本債券は、環境省とその請負事業者である株式会社日本格付研究所（JCR）およびイー・アンド・イートリューションズ株式会社（E&ES）により、環境省の「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」および国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」への適合性等についての確認を受けており、公募形式のサステナビリティ・リンク・ボンドとしては世界初の発行事例となります。

本債券による調達資金は、FIT制度（再生可能エネルギーにより発電された電気の固定価格買取制度で、これによるFIT電気は環境価値を持たないとされる）を利用しない太陽光発電設備の開発資金及び銀座 8 丁目における日本初の耐火木造 12 階建て商業施設の開発資金に充当される予定です。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上